

## 同期会だより①

### 『にぎやかなひとときを過ごした秋の同期会』

S36卒 田淵 紀子

親の介護、つれあいの介助、本人自身の病との闘い、いろいろな事情を抱えながらも恩師村山先生同席のもと47名の友が集いました。遠くは関東地域から、また、56年ぶりに参加した友。歌あり、日本舞踊あり、年齢を重ねた含蓄のあるスピーチあり、それはそれ



平成29年10月8日 和気鶴飼谷温泉

### 『今年も36閑谷会ミニ同窓会を開催』

S36卒 河本 正

『まだ生きています!』この表現、肯定的にとらえるか、悲観的にとらえるか?同窓会の出欠回答の冒頭文の一節。筆者も明日の朝は息をしているだろうか?ピンコロが目標なのでそれはそれで……後期高齢者にいよいよ全員が突入!



平成29年10月17日 割烹やまね

### 『和気閑谷高校還暦旅行』

S51卒 新田 正純

私たち昭和51年(1976年)卒業生17名は、今年の2月17日、18日に還暦旅行で出雲大社にお参りしてきました。和気閑谷高校で出会って45年、自由でやさしくて、情けがいっぱいあった当時を思い出しながらの旅でした。

参加できなかったSさんからお菓子が届き、夜、Y君は感激のあまりオイオイ泣きました。記念会館、金剛寮、格技場、体育館、運動場……等、私たちの青春をあたたく包んでくれた校舎を思い浮かべながら懐かしい思い出話に花が咲きました。山陰の空は、冬だというのにスカイブルーに晴れ渡り、まるで私たちを歓迎してくれているかのようでした。

さて、2020年には、閑谷学校開設350年という大きな行事が控えています。そして、今年10月21日(日)には、和気閑谷高校同窓会総会を私たち昭和51年卒業生が担当することになっています。創立350年に向け確かな総会にしたいと考えています。

思い起こせば、私たちが高校1年生の時に創立300年祭が厳かに行われました。ふと振り返ると、書棚で300年記念誌が静かに鎮座していました。



平成30年2月17、18日 出雲大社